

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み ・グループホームでの日々の生活・活動を報告していますが、状況報告で終わっており、意見交換・盛り上がりには乏しい状態である。 ・運営推進会議後の記録が滞っている。	・地域への活用などを検討し活性化を図る。 ・議事録を滞らせず、他の職員へも伝達していく。	・勉強会などを開催し、地域の方との交流を図り、グループホームへの理解を深めて頂く。 ・事前に詳細な資料を作成しているので、それをもとに議事録を作り簡素化する	6ヶ月
2	45	入浴を楽しむことができる支援 ・入浴日が固定されているため、体調不良などの際に翌日に順延できない現状である。	・一人ひとりの希望やタイミングに合わせた入浴	・長年の課題でもあります。1日に1ユニット9人の方の入浴をしています。入浴日ではない日はアクティビティーを充実できるように取り組んでいますが、毎日の入浴にするかなど検討しています。	12ヶ月
3	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映 ・面会時に積極的に話しかけ、家族様の思いなどくみ取るようにしているが、短い時間では家族様の真意を聞けているかは難しい。アンケート箱の設置も考えてみたが狭い環境であるので活用されないと考える。	・昨年に引き続き、家族様と入居者様が一緒に過ごす時間が長く持てるように、行事や交流会の機会を持つ。	・回数を増やすことで、気軽に何でも話して頂ける関係を作る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。